

信用部門における高齢化への対応

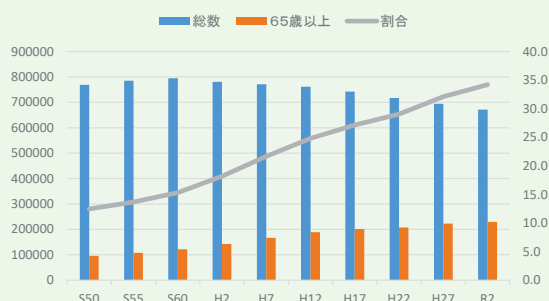
～組合員・利用者が安心して暮らせる地域社会の実現に向けて～

島根県農業協同組合
出雲地区本部 四絡支店
川上 理恵

社会的な問題・・・高齢化

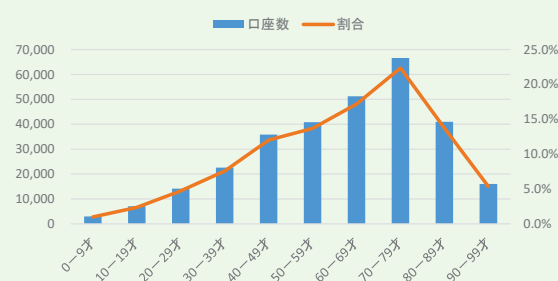
・島根県

島根県人口(総数、65歳以上、65歳以上割合)



・JALしまね

JALしまね個人貯金口座数(当座性・定期性)



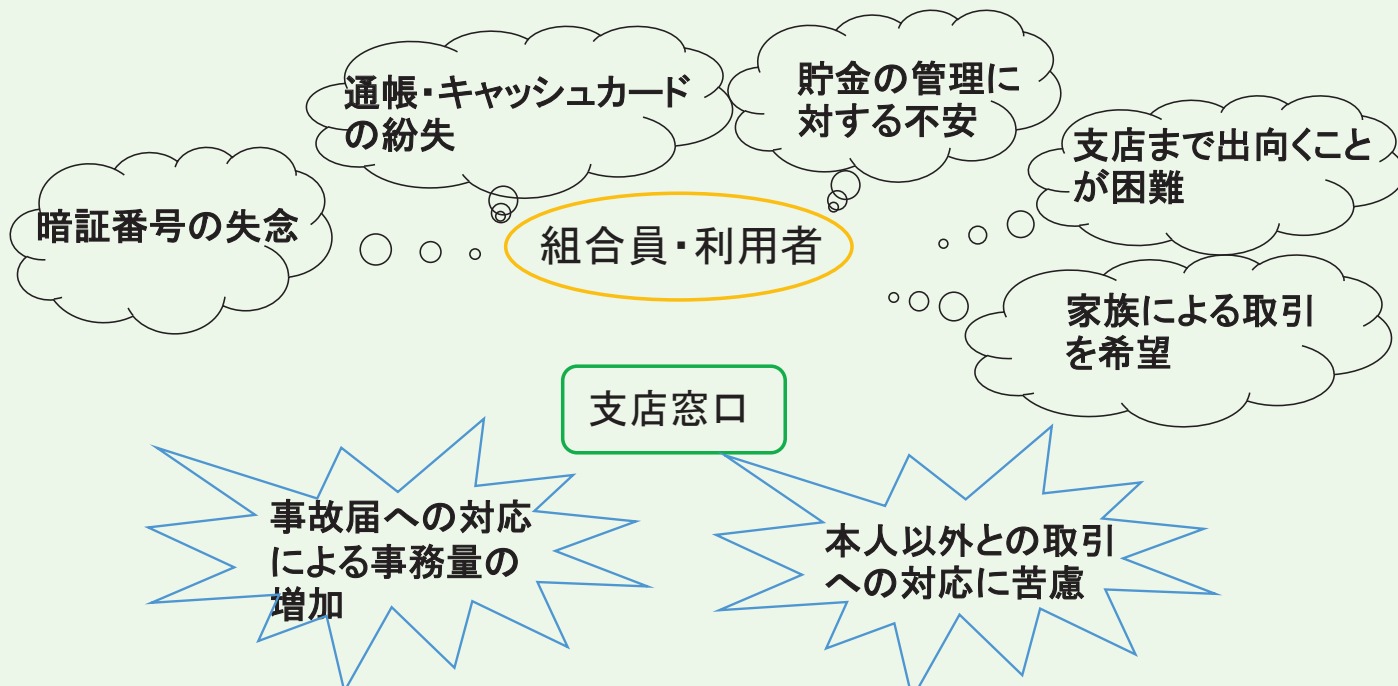
JALしまねの基本理念・・・

「心豊かに安心して暮らせる
地域社会の創造」



高齢になっても
JAの事業を安心して利用できる

JAにおける高齢化の課題(信用部門)



課題への対応(現行)

・委任状、代理人関係届の利用

・家族へ都度確認をして対応

・顔見知りの職員による対応

問題点

代理で行う取引を指定する必要

家族への対応等確認に時間を要する

身体的機能の低下により書類の記入が困難

手続きの厳格化



取引を断らざるをえない



取引を中止

組合員離れ

提案① 家族信託の仕組みを導入

対象取引: 信用取引全般

利用方法: 貯金者と家族、JAによる面談で内容を決定



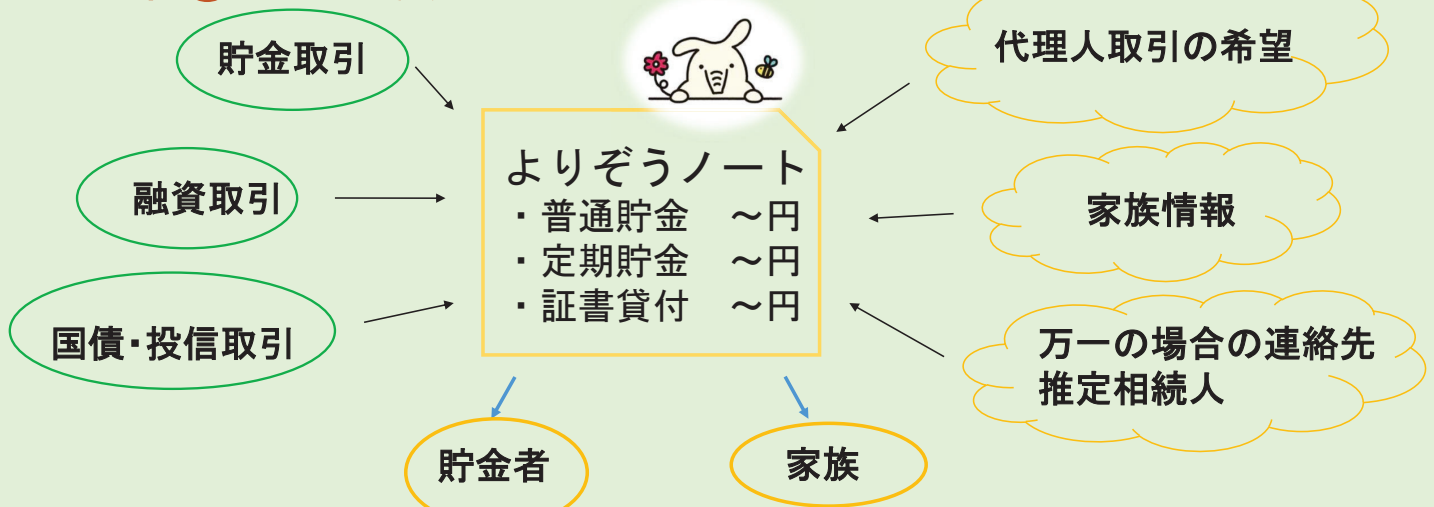
※貯金者による書類の記入は省略可能

組合員・利用者のメリット
・意思があれば利用できる。
・将来的に判断能力が低下しても取引を続けられる

JAのメリット
・各取引における確認事項が減り事務の負担軽減
・組合員・利用者1人1人に寄り添ったサービスの提供が可能

提案② よりぞうノート

©よりぞう



JAのメリット
・相続税対策や資産の活用の案内機会の創出
・貯金者の家族とつながることで次世代層との取引につながる
・相続対応にデータを活用

組合員・利用者のメリット
・取引内容が一目でわかる
・家族にJAでの取引について知ってもらえる

おわりに

JALしまね = 総合事業JA



○参考文献

- ・一般社団法人全国地方銀行協会 地銀協レポート Vol.3 「地方銀行の高齢顧客向けサービスの取り組み」 業務部
- ・一般社団法人第二地方銀行協会 リージョナルバンキング 2020年2月号 「超高齢化社会に期待される地域金融機関と営業員の役割」 株式会社大和総研 金融調査部 研究員 森 駿介
- ・2024年2月14日(水)ワークショップ「高齢化に対応した金融機関の取り組み」内 導入報告 「高齢化に対応した金融機関の取り組みの概観」 日本銀行 金融機構局 金融高度化センター 小澤 康裕
- ・しまね統計情報データベース内国勢調査結果概要
<https://pref.shimane-toukei.jp/index.php?view=4336>
- ・JALしまね個人貯金開設人数 営業店システム内情報系システムより集計

○使用イラスト

いらすとや <https://www.irasutoya.com/>